

京都帝國大學法學部

# 經濟論叢

第八卷 第六號

大正八年六月一日發行

## 論說

資本税の課徴方法……………

法學博士

神戸 正雄

公羊家の理想とする大同の社會……………

法學士

小島 祐馬

割地の發生并に發達についての考察……………

法學博士

牧野信之助

企業の經濟的及び道德的性質……………

法學博士

田島 錦治

經濟循環期論(四完)……………

法學博士

財部 靜治

植民地領有の目的(三完)……………

法學博士

山本美越乃

米國のI.W.W運動の研究(三)……………

文學士

米田庄太郎

紙幣の減價に就いて(三完)……………

文學士

高田 保馬

## 時事問題

收入豫算の見積を論ず(二)……………

法學博士

小川郷太郎

少年勞働及徹夜業の禁止……………

法學博士

戸田 海市

## 雜錄

英國の勞働不安……………

法學博士

河田 嗣郎

ピユツヘルの經濟階段說に就いて……………

法學士

本庄榮治郎

# 米國の I. W. W. 運動の研究 (三)

米田庄太郎

## (五) I. W. W. の成立

前節に於て述べし如く、米國に於ける革命的産業組合主義の根本思想は、千九百二年より千九百五年に至る間に、大體上樹立されて來たのであるが、其れと同時に其の根本思想を有効に實現する爲めに、當時諸處に散在せる革命的要素を結合して一大團體を組織し、以て合同的大運動を起さしむる労働界の實際的氣運も亦熟しつゝあつたのである。茲に簡單に其の一斑を述べて置くが、此の頃「合同醸造労働者」は「米國労働聯合會」より其の産業組合主義的組織に就て攻撃を受け、且つ其の組織を改むるに非らずば、加盟認可を取消すまで脅嚇されたから、非常に不平の念を起し、同聯合會に對して反感を抱いて來た。又「合同鑛山労働者」の中には組合の指導者に對して不満の念を抱き、殊に千九百二年の同盟罷業協定の結果に付て、大に不平を起して居る者が多かつた。又「合同金屬労働者」は「米國労働聯合會」に加盟せずして、其の産業組合主義を主張して居つたが、併し單獨な行動では到底有力なる活動をなし得ないことを覺つて、同主義を奉ずる大團結を起さんと計畫しつゝあつた。又「鐵道使用人合同々胞會」は鐵道會社より絶へず強き壓迫を加へら

れて、其の勢力は大に弱はつたから、之を恢復せんが爲めに、他の労働團體と團結し協力せんことを熱望して居つた。又東部に於ても「社會主義者職業及び労働同盟會」は當時絶へず勢力を失ひつゝあつたが尙ほ數千人の會員を有し、而して彼等は「米國労働聯合會」に加盟するにはあまり革命主義的であつたが、而も孤立するを欲せず、何れかの労働團體と提携し又は聯合して活動せんことを望んで居つた。殊に革命的組合主義の開拓者及び旗手であり、又當時同主義の最も有力なる團結であつた「鑛山夫西部聯合會」は、大に其の勢力を擴張し、且つ同主義を汎く全國に亘りて鼓吹せんと企だてつゝあつた。

以上述べしが如き労働界の實際的狀態の下に於て、千九百四年頃には革命主義的な新しき國民的労働運動の勃興す可き氣運は大に熟して來たのであるが、之を看取せる革命的産業組合主義の首唱者等は、同年中に屢々會合して運動計畫を秘密に協議して居つたが、遂に千九百五年一月二日シカゴに於て稍々公式的な大協議會を開くことになり、四十二の労働團體及び労働指導者に招待状を送つた。而して其の招待状の中には新運動の主意の一斑が述べられて居るが、殊に注意す可きは(1)今や職業的區分及び政治的無智が速かに終りを告ぐ可き時機が迫つて居ると云ふこと、(2)労働者階級が若し産業的及び政治的兩方針に於て正當に組織されるならば、米國の諸産業を占有し、彼等自身の利益の爲めに之を有効に運用することが出来るであらうと云ふこと、(3)社會主義的投票によりて労働者階級の政治的意見が、健全に表現される爲めには、夫れは社會主義的社會の骨髄として建設されたる労働團體に於て、其の經濟的補充を有す可きものであると云ふこと

等の陳述である。

今右の千九百五年一月のシカゴ協議會に於て大に勢力を振ふて居つたのは William D. Haywood, Eugene U. Debs, William E. Trautmann, Daniel De Leon, A. M. Simons 等として彼等の影響の下にて、數日間引續いて協議が行はれ、而して其の後有名になれる「産業組合主義者宣言書」(Industrial Unionist Manifest) は此の協議會に於て作製されたのである。而して此の宣言書は新運動の基本原理を樹立せるものとして大に注意す可き價値あるものであるから、茲に簡単に其の要旨を述べて置く。先づ其の批評的方面に付て見るに、其陳述する處の思想の大要は左の如くである。

今や人間の熟練は器械によりて取り代へられ、資本家の勢力はかゝる器械を左右する力の増加によりて堅實に強められて居る。而して其の直接の結果として労働者間に於ける職業的區別及び資本家間に於ける競争は均しく消滅しつゝあるのである。常に生産力のより少ない器械に取り代へられつゝある新しき器械は、從來の職業的差別を全く消失せしめ、労働者の新しき群を職業を有せざる、無力なる失業者の常に増加しつゝある團塊中に投げ込みつゝある。而して資本家は彼等自身は益々有力なる團結を作りつゝあると同時に、労働者の職業を出来るだけ細分して其の團結力の弱はることを望み、且つ無自覺なる労働者が夫れ夫れ職業の區別を固持し、之に基づいて團結し、以て相互に争はんとする形勢を出来るだけ助長せんと力めて居る。要するに企業家の戦線及び戦略は器械的及び産業的集中の大勢に順應して發達しつゝあるか、之れに反して労働者は其の大勢をよく覺り得ないで、既に消滅せる職業的區別に従ふて、今尙ほ其の戦團圍

體を組織して居る。併し此の磨損し腐敗せる組織は、今日其儘にては維持し得らるゝものではないのみならず、何等の改善を加へる望みさへないものである。暗の雲には銀色の裡附けがない。今や失望は労働界を覆ふて居る。而してかゝる状態は産業的連帶を全く不可能ならしめて居るのである。組合員は組合員の裏をかき、労働者は労働者を憎み、而して彼等は分裂し、崩解し、無力なるものとして、資本家の手に渡されて居る。職業組合は高き入會金によりて入會者を付け、ユニオン、カードやユニオン、レベルは労働者の一般的協力の途を塞いで居る。而して此等の事情は、總て労働者の階級意識の生長を妨げ、使用する掠奪者と使用される奴隸との間に、利益の調和があるが如き考へを彼等の心に養はしめて居るのである。

以上述べし處は該宣言書の批評的方面の大要であるが、次に其の建設的方面に付て見るに、其の陳述する事の要點は左の如くである。

今日労働者階級全體の蒙りつゝある一般的なる經濟的害惡は、只労働者階級全體の一般的なる運動によりてのみ根本的に艾除され得るものである。而して此の目的を達するに適當する一般的なる労働階級運動は總ての産業を包括し、地方的には職業的自律、國際的には産業的自律、又一般的には労働階級の統一を圖る一大産業組合(One Great Industrial Union)によりて起されねばならぬ。更に其の運動は階級闘争を基礎として立ち、而して其の一般的管理は資本家階級と労働者階級との間に存在するの處の制止され難き衝突を承認し、此の承認に準じて行はれねばならぬ。

千九百五年一月のシカゴ協議會の發表せる「産業組合主義者宣言書」の大意は右に述べしが如きものであるが、此の協議會は更に千九百五年六月二日矢張りシカゴに於て全國大會を開催することを決議し、其の準備委員を選定して、其の任務に當らしめた。而して同日に米國産業組合主義者の第一回大會が開設され、又此の大會に於て今日有名なるI.W.W.が生れたのであるが、此の際二十四ヶの労働團體より送れる百八十六人の代議員が集りて、十二日間會議を續けたのである。其等三十四ヶの労働團體中で最も重要なものはThe Western Federation of Miners, the American Labor Union, the Socialist Trade and Labor Alliance, the United Brotherhood of Railway Employees, the United Metal Workers, the United Brotherhood of Carpenters and Joiners, the Illinois locals of the United Mine Workers of America, the Journeymen Tailors' Protective and Benevolent Union of San Francisco, the Punch Press Operators' Union of Schenectady 等である。而して其等百八十六人の代議員の代表せる會員總數は九萬人とも又十五萬人とも云はれて居るが、とにかく新設の労働團體に直ちに加入する權能を與へられて出席せる代議員の代表せる會員數は五萬人餘に過ぎなかつたと云ふ。此の大會に於ては各團體の會員數に應じて其代議員に投票權を與へることゝしたから、會員數の大なる團體は假令其の送れる代議員の數が少なくとも、多くの投票權を有することになり、此くて最も多數の會員(二萬七千人)を有せし「鐵山夫西部聯合會」は、代議員五名しか送らなかつたが、併して二萬七千の投票權を有つて居つた。而して之れに次で多數の會員を有つて居つたのは、「米國労働組合」(一萬六千七百五十人)、「合同金屬労働者」(三千人)、「合同鐵道使用人同胞

會(二千八十七人)及び「社會主義者職業及び勞動同盟會」(千四百五十人)等であつた。されば此の大會に於ては「鑛山夫西部聯合會」は最も大なる勢力を振ひ、而して其の幹事及び會計を兼務せしヘーウッドは大會永久議長に選ばれたのである。

却説千九百五年六月のシカゴ大會は革命的産業組合主義者の最初の公式的大會として、其のなす可き任務は其だ重大で且つ困難であつたが、其の困難は代議員間の思想主張の差異の大なりしことによりて一層増大した。要するに此の大會は甚だ異質的なる諸要素の會合であつたので、彼等を結合して統一的なる原理及び目的を決定すると云ふことは、其だ困難であつたのである。

I.W.W.運動の最も有力なる指導者の一人、セント、ジョンは此の大會に付て左の如く述べて居る。「總ての種類及び色彩の理論及びプログラムが、第一回大會に出席せる代議員や其の他の人々の間に代表されて居つた。併し其の主要なるものは四つである。即ち議會主義的社會主義者―過激派と機會主義者―、マールクス主義及び改良主義の無政府主義者、産業組合主義者及び勞動組合乞食等である。而して此等の相衝突する諸要素を結合すると云ふ仕事は、此の大會によりて企だてられたのである。」併しI.W.W.運動の其の後の發達の上から考へて、此の大會に於て主張されたる種々なる思想を吟味して見ると、其の重要な要素は三種に大別されと思ふ。

第一の最も重要な要素は、將さに組織されんとする團體を以て、政治的社會主義運動の經濟的基礎となさんとするものにして、勞動者の手に有する最も有力なる武器は投票權、而して勞動者が依つて彼等の政治的勢力を適當に運用し得る政黨は社會黨であると確信せる勞動組合

主義者より成立して居つた。第二の要素は矢張り社會主義的思想を抱て居つたか、而も政治的運動を以てさほど重要なものとは考へず、之を労働者階級の經濟的組織に附随せしめんとするであつた。而して此の要素は労働組合の社會的役目を重要視し、將來の社會主義的社會は労働組合より進化するの確信せる人々より成立して居つた。此等の二要素は大會に於ける代議員の多數を占めて居つたので、此くて大會は明らかに社會主義的色彩を表はして居つた。併し代議員の中には又少數ながら無政府主義者があつて、彼等は政治的行動を賤め、或は全然排斥し、而して労働者の唯一の希望は、經濟的方面に於ける合同的階級活動に在ると確信して居つた。是れ第三の要素を成せしものにして、而して佛國の革命的サンヂカリズムの思想によく通じ、米國の此の新労働運動に之れと同様な特色を保たしめんとせるは、實に此の要素であつた。第一回大會に於ては此の要素の人数は少なかつたが、併し彼等は猛烈に彼等の主義を主張した。而してI.W.W.運動の後の發達に於て大に勢力を振ふて來たのは此の要素であるのである。

今第一回シカゴ大會は以上述べしが如き諸種の異分子より成立して居つたから、總ての問題に就て全會一致の原則を樹立することは困難であつた。殊に労働團體の政治的行動に關しては、右の三種の要素の見解は到底完全なる一致に達することは出来なかつた。されば同大會に於て議決されたI.W.W.の憲法の序文中政治的行動に關する文句は殊に曖昧であつたので、千九百八年の第四回の大會に於て、其の文句が遂に修正されるまでは、屢々論争の種となつたのである。併し右文其の序文には彼等總ての合致し得る諸點は甚だ明白に、且つ強く陳述されて居る。茲に其の序文



の全體を掲げて以てI. W. W.創立の際に於ける其の根本思想を示すこととする。

労働者階級と雇主階級とは何等共同的なるものを有たない。幾百萬の労働人民の間には饑餓と缺乏とが見出され、而して雇主階級を作る小數者が人生の總ての良きものを所有する以上は、到底社會の平和は成立し得ない。

此等の二階級間には、總ての労働者が政治的、并に産業的舞臺に於て合致し、而して彼等か彼等の労働によりて生産するものを、何れの政黨とも聯合することなく、労働者階級の經濟的團結によりて占有するまでは、鬭争は常に進行せねばならぬ。

富の急速なる集積、及び愈々小數者の手に産業の管理が集中されることは、職業組合をして雇主階級の常に益々増大しつゝ、勢力と抗争することを不可能ならしめる。是れ職業組合は同一の産業に於ける労働者の一團をして他の一團と相争はしめ、夫れによりて賃銀鬭争に於て労働者をして相互に他を失敗せしむるが如き状態を養成するからである。職業組合は労働者を欺きて、労働者階級は彼等の雇主と共同の利益を有するものであると云ふが如き信仰に彼等を導き、雇主階級を援助するものである。

只何れの産業に於ても、又若し必要ならば總ての産業に於て、其の總ての會員が何れの部分に於て同盟罷業或は工場閉鎖が起つても、其のたび毎に直に仕事を停止し、此くて一部分に加へられる損害を總ての損害となす様な方法にて作られたる組織によりてのみ、其等の悲しむ可き條件か變更され、而して労働者階級の利益が保持され得るのである。

以上述べし處によりて見ればI.W.は其の第一回の大會よりして職業組合主義を大に排斥し、而して産業組合主義を其の神髓となして居ることは明らかである。而して此の産業組合主義を神髓とする點に於ては異質的なる總ての要素も全然一致して居つたのである。併し如何に産業組合を組織するかと云ふ問題に就ては再び異論百出し、種々なる考案が唱へられた。或代議員は労働者の使用する道具を標準として箇々の産業組合を組織し、特定の道具を使用するものは何れの産業に於て働いて居るかを問はず同一の産業組合を作る可きものであると主張し、他の代議員は原料を標準として産業組合を組織し、一定の原料に付て働くものは總て同一の産業組合を作る可きものであると主張し、更に他の代議員は使用する道具や使用される原料の如何を問はず一定の産業に屬する總ての労働者は相結合して一の産業組合を組織す可きものであると主張した。而して大會は此の最後の考案を採用して、其の憲法に於て産業組合の組織を規定した。夫れによりて見ると、産業の全體は農業、鑛山業、建築業と云ふが如き十三種の産業に大別され、又此等十三種の産業は現代の産業生活を表現するものにして、又將來の産業組織の基礎をなすものと認められ、而して産業組合は之れに準じて、農業及び水産業部、鑛山業部、建築業部と云ふが如き十三部に大別されて居るのである。

尙ほ此の大會に於ては一般に強固なる中央集權的組織を望む傾向が強かつた。是れ矢張り「米國労働聯合會」の活動の有效ならざるはあまりに分權的に組織されて居るか爲めであると見る考へから起れるものである。而して其の憲法に於ては中央集權的傾向は其處此處に明白に現はれて

居るのである。例へば會長并に實行委員に大なる權力が與へられ、總ての組合は全く其の命令に服従することになつて居る。但し會長及び實行委員は毎年の總會及び「レフェレンダム」によりて會員全體より督制されることになつて居る。要するにI.W.W.の組織は「米國勞動聯合會」の組織と根本的に異なつて居るが是れ兩者の精神が根本的に異なつて居ることからして、當然生ず可き結果であると思はれる。

却說千九百五年六月の第一回シカゴ大會に於て、I.W.W.は上に述べしが如き経路により、又上に述べしが如き原則と組織とを具へて設立されたのであるが、其際會長には「合同金屬勞動者」のシヤーン(Charles O. Sherman)、又幹事會計には「合同醸造勞動者」のツラウトマンが選ばれ、而して五名の委員より成る執行部委員會には「鑛山夫西部聯合會」のモヤー(Charles H. Moyer)「合同鐵道使用人同胞會」のマックケープ(Frank M. Cabel)「合同金屬勞動者」のカークバトリック(Charles Kirkpatrick)及び其他の二名が選ばれた。吾人は之れによりてI.W.W.創立の際には、如何なる勞動組合が其の牛耳を執つて居つたかを察知することが出来るが、さきにも述べし如く、「鑛山夫西部聯合會」は殊に勢力を振ふて居つたのである。

I.W.W.は其の設立の第一年間には、何人も豫期し得ざりし程の成功を收めたので、翌千九百六年の夏には會員數は十萬人に達し、週刊の機關雜誌(The Industrial Union Bulletin)は盛かに發行され、又遊説員は諸方に奔走して大に活動して居つた。併し同年二月に既にI.W.W.にとりて甚だ不幸なる事件が起つて居つた。夫れは「鑛山夫西部聯合會」のヘーウッド、モヤー、及びペチポーン等が前知事ストイチンベルグの暗殺を教唆したと云ふ嫌疑にて拘引されたことである。而

してヘーウッドが拘留されて彼が一時活動界より退かねばならなくなつた事はI.W.W.にとりて殊に大打撃であつた。是れヘーウッドはI.W.W.の創設に於ける最も重要な人物であり、又I.W.W.が「鑛山夫西部聯合會」の強き後援を得たのは、主として彼の盡力によつてであつたからである。されば彼の拘留はI.W.W.に於ける「鑛山夫西部聯合會」の要素を弱め、而してI.W.W.の過激なる傾向に付て、恐れを抱いて來た様な指導者等をして、勢力を得るに至らしめたのであるが夫よりI.W.W.の會員間の内訌は益々烈しくなつて來た。此くて千九百六年の第二回大會に於ては「革命主義派」と「反動派」との間に争ひが起り、前者は會長シャーマンの不信任案を呈出し、暴力を振ひて、大會をして彼の職を免せしめ、且つ會長の職を廢すると共に、憲法に種々なる修正を加へた。併しシャーマンはかゝる亂暴なる大會の決議に服従するを欲せず、會長の職を止めなかつた。而して「鑛山夫西部聯合會」は彼の態度を援助した。併しシャーマンは遂に其の抗争を棄てI.W.W.を去つたが「鑛山夫西部聯合會」も亦其の年の自己の大會に於てI.W.W.を退會することを決議した。

千九百七年の第三回大會には別に注意す可き事件は起らなかつたが、併し千九百八年の第四回大會に於ては重大なる事件が起り、今日のI.W.W.は實に此の大會に於て出れたと云ふともよいのである。然らば此の大會に於て起つた重大なる事件とは如何なることであるかと云ふに、夫れは即ちI.W.W.の政治的行動に關する方針を確實に決定したことである。

さきに述べし如く、I.W.W.の政治的行動に關しては、第一回の大會に於て既に代議員間に大なる論争が起り、各々其の主張を曲げなかつたから、到底全體の一致より成れる方針を確定することが出来ず、憲法の序文に見ゆる如く曖昧なる文句を以て、一時の妥協を圖ることゝしたのである。

併し其の後I.W.W.の地方的團體の會合に於て政治派と反政治派との間に常に論争が絶えなかつた。且政治派内に於ても「舊社會勞動黨」(The Socialist Labor Party)と「新社會黨」(The Socialist Party)とが常に相争ふて居つた。而して此の事は反政治派、即ち産業組合の經濟的機能のみを重要視する人々をして愈々強く政治的行動の分裂的惡影響を感せしめ、彼等の反政治的傾向を益々強めしめた。尙ほ著名なる政治的社會主義者が、I.W.W.に加へた攻撃はI.W.W.の指導者の感情を大に害し、彼等をして愈々反政治的方針に進ましめたのである。而して憲法の序文中の文句を修正して、經濟的組織の勝れたる革命的價值を明確に高調せんとする要求はI.W.W.の會員間に段々強まつて來た。此の際更にI.W.W.の反政治的傾向の強まることを助長したのは、佛國の革命的サンデカリズムの直接の影響であつた。而して千九百八年の第四回大會は、「社會勞動黨」員があると同時にI.W.W.の政治派の有力者であつたデ、レオンの代議員資格を否認することによりて、政治派排斥の方針を明らかに示した。夫れより同大會は憲法の序文を修正し、I.W.W.は愈々佛國の革命的サンデカリズムに接近して來た。但し右の序文修正は大に革命的サンデカリズムの直接の影響によりて行はれたるものなるは疑ふ可からざる事と思ふ。而して其の新序文は、先づ政治的行動に關する文句を左の如く修正した。

「此等の二階級間には世界の労働者が一の階級として組織せられ、土地と生産の機關とを占  
有し、且つ賃銀制度を廢止するまでは、鬭争は常に進行せねばならぬ。」  
而して原序文に更に左の二節を加へた。

「公正なる仕事に對する公正なる賃銀」と云ふ保守的な格言の代りに、吾人は吾人の旗の上に

「賃銀制度の廢止」と云ふ革命的箴言を記さねばならぬ。

資本主義を廢止するは労働者階級の歴史的使命である。生産の軍隊は單に資本家との日々の闘争の爲めにのみならず、更に資本主義が破壊された時に自から生産を遂行する爲めにも亦組織されねばならぬ。産業的に團結することによりて、吾人は古き社會の殻の中に新しき社會の基礎を作りつゝあるのである。

今 I. W. W. の原則に於て此等の根本的變更が行はれ、而して I. W. W. が全く過激派の手に歸するや、始め之れに加盟せし有力なる労働組合は續々退會した。此くて只少數の指導者の一群のみが残ることとなつた。併し其等の指導者は其の精神及び理想に於て、頑強なる革命家であつて、飽くまでも革命的運動を遂行せんとする決心の堅き人々であつた。されば彼等は其等の有力なる労働組合の續々退會するを見るも敢て失望せず、而して更に其の活動の新しき地盤を求めたが、其の際彼等は之を不熟練労働者の間に於て發見し、茲に今日見るが如き I. W. W. 特有の運動が始まり、「米國労働聯合會」に對して其の特有の眞義を發揮して來たのである。要するに米國労働運動史に於ける I. W. W. 特有の使命は千九百八年其の憲法の根本的修正を行なひたる後に於て發見せられ、而して其の眞相は千九百九年マッキース、ロックス同盟罷業 (The Mc, Kees Rocks Strike) に於て始めて明らかに發揮されたと云ふてもよいと思ふ。然るに生れ更はれる I. W. W.、或は眞の I. W. W. の眞義を十分によく理解する爲めには、吾人は少しく米國に於ける不熟練外國移民労働者と労働運動との關係を考察せねばならぬ。殊に此の問題は日本移民問題とも重大なる關係を有するものなれば、余は次節に於て特別の興味を以て此の問題を論究して見たいと思ふ。